

介護、福祉、相続などみなさんの疑問にお答えするコーナーです♪



はーい！！
どうなさいましたか？

年末に数日に分けてお餅つきをしたら、お正月中両腕が筋肉痛となり苦しんでいた企画室の黒田です。
20代の頃はならなかったのに…。

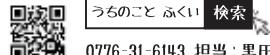
さて、今回は私が担当しているうちのことの活動を振り返ってみようと思います。
うちのことが始まって約3年。これまで専用ダイヤルやメールでの相談対応、情報誌（うちのこと通信）発行の他、定期的にセミナーや相談会を開催したり、講演会へ講師を派遣したりしてきました。

中でも個別相談に特化した「なんでも相談会」というイベントは、専門家に「うちのこと（家のこと・自分のこと…etc.）」を無料で相談できるとあって好評です。相談員一人では解決しにくい相談事は、他の専門家につないだりして対応していました。専門家同士が連携し解決策を検討してくれることがうちのことの魅力の一つなんだと思います。



うちのことでは住まいや介護・相続といった誰にでも関わることのあるお悩みを解決し皆さんに笑顔と安心を届けられるよう、これからもメンバー一丸となって取り組んでいきます。

今後ともよろしくお願ひいたします。



QRコード うちのこと ふくい 検索

0776-31-6143 担当: 黒田

みんなのらくがき帳

～編集部からの
自由コラムへ

皆さま、あけましておのでのうござります！

毎日寒くて、家のこたつから出たくない小浜営業所の竹原です。

去年の話ですが、小浜営業所のメンバーでゴルフに行ってきました。

私は4年ぶりでしたが、スコアはそんなに変わっていませんでした…

改めてゴルフの難しさ、奥の深さがわかりました。

今回のメンバーはほぼ初心者ばかりでしたが、

皆が楽しんでいたのでよかったです。

今後は定期的にゴルフを楽しんでいきたいと思いました！



ナイスショットをする竹原くん(笑)

発行 TASSAY 株式会社タッセイ

2020年1月25日発刊

Vol.056

タッセイ通信

「建材」と「愛」をお届けするタッセイの「人柄」を見せる情報誌



三代目奮闘記



皆さま、こんにちは！生まれて初めて、家族で除夜の鐘をつきながら年越しを迎えましたタッセイ三代目社長の田中陽介です。



さて、元日の福井新聞には、様々な業界の経営者55名が今年の抱負や展望を語る「新春トップインタビュー」という企画があるのですが、これまでの父である会長に替わり、今回初めて僕の抱負を掲載いただきました。

おそらく55名の中では、最年少ではないかと思います。
(今回のタッセイ通信に同封させて貰いますのでお読み下さい)

建設業界には課題も先行きの不透明さもあるのかも知れませんが、今年のタッセイは『建設業を明るく照らす企業』を目指して！
気を引き締めて、全力で、努力を積み重ねていきたいと思います。



それと2020年に、田中家にとってのビッグイベントがひとつ。この2月に満9歳、数え年で100歳となる祖父の正義相談役がなんと、東京オリンピックの聖火ランナーに決定したんです！！

5月末に福井県の嶺北のどこかを聖火の灯ったトーチを掲げて200m走らせて貰えることとなりました。

いや～、こんな記念になる幸運なチャンスはなかなか無いなあ^_^
ちなみに僕もご相伴に預かり、介助者として隣を併走させて貰えるみたいです！

これから一緒に半年間、相談役とトレーニングをしなければ(笑)

2020年も、皆さんと共に建物づくりを応援していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社タッセイ
代表取締役社長

田中陽介



普段は聞けない!? あんなこと♪ こんなこと♪

今月号は、
編集長 松山が松タモリに変身♪
愉快にインタビュー

TASSAY テレフォンショッキング



名前：岩佐 奈津子

所属：営業企画室

入社：7年目

趣味：韓国ドラマ鑑賞

ライブに行くこと



タ：タッセイ通信今月のゲストは、松タモリの娘2号♪

工務店さまのサポートをすべく日々奮闘している、営業企画室の岩佐さんです！

ではまず入社のきっかけから教えてもらえますか？…知ってるけど（笑）

岩：なんかやりにくいな～（笑）ネットで気になる求人を見つけてその求人を扱っていた

派遣会社に登録したら、その派遣先がタッセイだったんです。

3ヶ月派遣社員として働いて、会社の雰囲気が良いなと感じ正社員として採用してもらいました。

タ：今思えば建築の知識もない、図面も見たことないっていう状態で営業企画室に配属されて不安じゃなかった？

岩：最初は瑕疵保険の取次から始めたんですけど、まず「カシホケン」ってなに？っていう（笑）でももともと家には興味があったし、前職と全然違う分とても新鮮でした。

部署や上下関係なく話しやすい雰囲気で、わからないことを聞きやすい環境も助かりましたね。

しばらくして部署の先輩が産休に入ってわたし一人になった期間があったんですけど、

復帰したときに「めっちゃ成長してる！！」って言われたのが嬉しかったです。

タ：ほんと成長したよなあ…（しみじみ）最近休日は何してるの？

岩：家ではBIGBANGの曲聴いたりBIGBANGのライブDVD観たり

韓国ドラマ観たり読書したり…ほぼ韓国です♡

もともと韓国のメイクや食べ物が好きで、旅行に行ったりしていて。

BIGBANGは5~6年前に知人が取ってくれたチケットで

ライブに行ったらハマって…今ではどっぷりです（笑）

タ：いいなあ～。多趣味な僕からしたら何か一つすごく好きなものが

あるって羨ましい…。じゃあ最後に今後の抱負で締めてください☆



韓国でグッズを大量に購入♡

いいやも！



岩佐さん、ありがとうございました！

次回はタッセインジニアリング(株)より野島有希子さん、出てくれるかな？



営業企画室 松山 Presents

おトクな!? 最新情報を届け

お役立ち information



みなさん、こんにちは！最近カレー鍋の美味しさを知った松山です。

さて、今回のお役立ち information はジャパンネット銀行が行った
ミレニアル世代と親世代「住まいと暮らし」への価値観に関する調査についてお届けします。

◎ミレニアル世代とは？

- ・もともとアメリカで生まれた言葉で、2000年以降に成人した世代の総称
- ・日本国内では現在18歳～25歳の若年層を指すことが多い
- ・デジタルネイティブ→生まれたときからPCやスマートホンが身近にある
- ・わからないことは人よりネットなどのテクノロジーに聞く
- ・「物（モノ）」よりも「体験（コト）」にお金を使う
- ・ブランドよりコスパ重視などなど



簡単にポイントをまとめると、

1.「住まい」に対する意識

- ・ミレニアル世代は「飲食店の多さ」や「都市部」、親世代は「自然災害に対する安全性」を重視

2.「暮らし方」に対する意識

- ・パートナーと暮らしあはじめるタイミング…ミレニアル世代は「結婚前」、親世代は「結婚後」
- ・「パートナー自体や、パートナーとの同居を望まない」ミレニアル世代も約3割に！

3.「新しい住まい方・暮らし方」に対する意識

- ・アドレスホッピング、サードプレイス…ミレニアル世代に支持される新しい住まい方・暮らし方
- ・住まいを「モノ」ではなく「コト」として捉える、自分らしい「オリジナリティ」を求める

この調査結果から、新築住宅市場や中古住宅市場も、今後どのような世代・人にどのような商品・サービスを提供するのか、マーケティングの参考になると思います。

また、ミレニアル世代に「住まい・暮らしに対する価値観」を聞いた質問では、

- ・数年後に自分がどこに住んでいるかはわからない：72%

・土地や家の価値よりも、その土地や家で何ができるのかのほうが重要だと思う：71%

・自分らしくカスタマイズした家に住みたいという気持ちが強い：65%

- ・「終の住み家」（最期を迎える時まで生活する住まい）は必ずしも必要がない：45%
- ・気が合う人であれば、家族以外の人と一緒に共同生活することにも抵抗はない：38%
- ・同じ場所に住み続けることは、安定ではなく窮屈だと感じる：37%

特に**太子**の部分は工務店様にとって今後の計画の参考になるのではないか。

それでは今回のお役立ち information はこれにて終了。また次回お楽しみに♪